

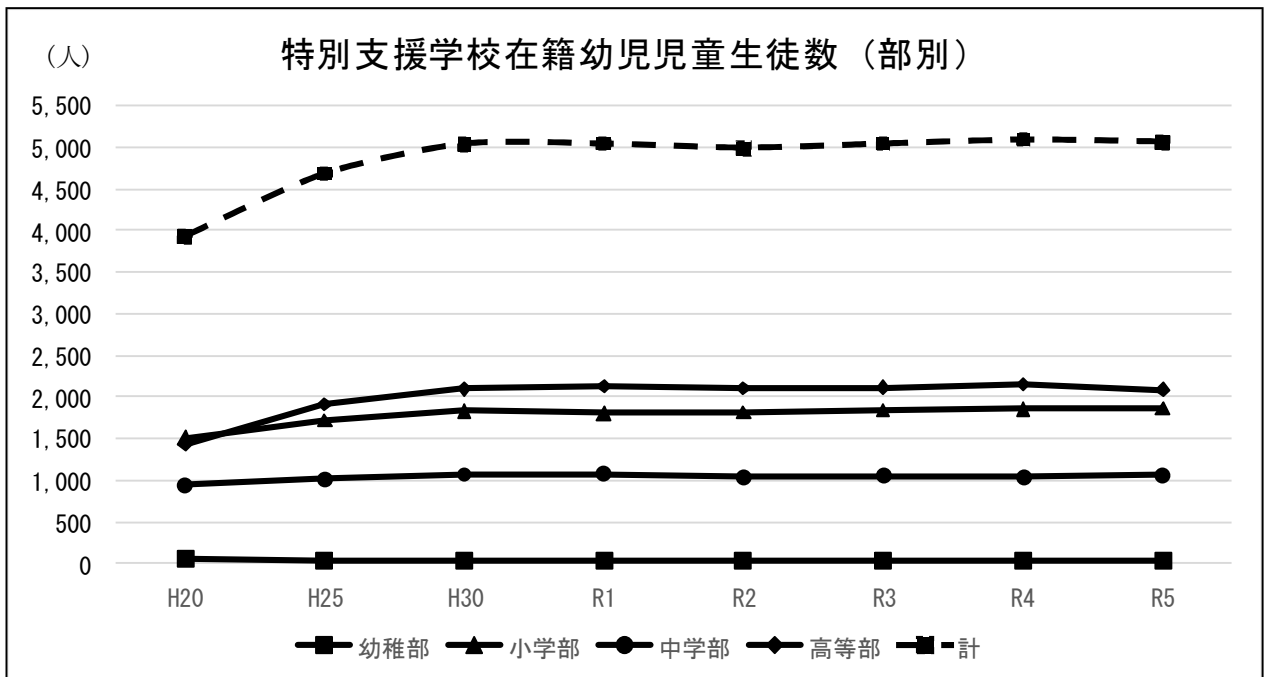
# 静岡県手をつなぐ育成会就労支援部会 資料

令和6年9月12日  
 県教育委員会特別支援教育課

## 1 静岡県の特別支援学校の現状

(1) 特別支援学校在籍幼児児童生徒数 (※国立、私立、専攻科を含む) (人)

	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5
幼稚部	52	41	34	32	35	40	43	40
小学部	1,508	1,718	1,829	1,804	1,817	1,835	1,853	1,860
中学部	937	1,012	1,071	1,077	1,035	1,052	1,033	1,064
高等部	1,433	1,908	2,097	2,131	2,101	2,113	2,149	2,096
計	3,930	4,679	5,031	5,044	4,988	5,040	5,088	5,060



(2) 特別支援学校高等部在籍生徒数 (障害種別) の推移 (※国立、私立、専攻科を含む) (人)

	H20	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5
視覚	48	44	31	31	32	31	25	11
聴覚	30	44	30	22	22	15	11	8
知的	1083	1,543	1,776	1,805	1,866	1,896	1,914	1,887
肢体	209	204	201	206	125	116	110	123
病弱	45	37	36	38	34	26	30	29
訪問	25	36	23	29	32	29	26	29
計	1,191	1,908	2,097	2,131	2,111	2,113	2,113	2,087

## 2 特別支援学校高等部の進路状況

### (1) 高等部卒業生の進路状況(令和6年3月卒業)

※国立、私立、専攻科を含む。

進路区分		視覚	聴覚	知的	肢体	病弱	計	割合
大学等	大学	0	0	0	0	0	0	0.0%
	短大	0	0	0	0	0	0	0.0%
	通信制	0	0	0	0	0	0	0.0%
特別支援学校専攻科		2	0	0	0	0	2	0.3%
専修学校等	専修学校	0	0	1	0	1	2	0.3%
	各種学校	0	0	1	0	0	1	0.1%
職業能力開発校		1	0	6	0	2	9	1.3%
就職		2	1	222	1	3	229	34.3%
社会福祉施設等	児童	0	0	1	0	0	1	0.1%
	生活支援	1	0	142	32	0	175	26.2%
	就労支援	1	1	222	7	0	231	34.6%
医療関係		0	0	1	0	1	2	0.3%
その他		1	1	12	2	0	16	2.4%
合計		8	3	608	42	7	668	

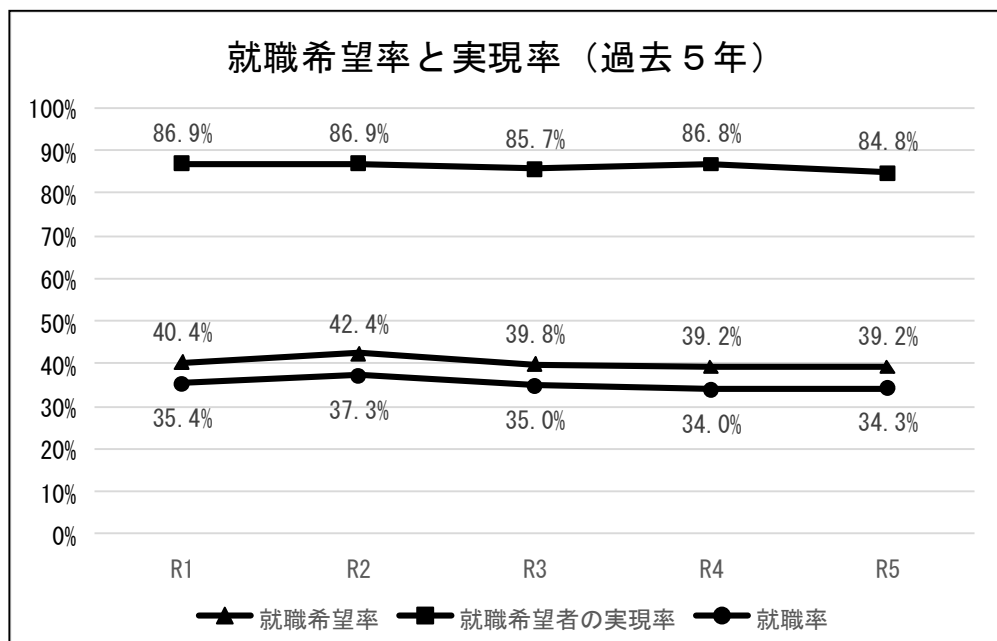
※生活支援は、居宅介護・重度訪問介護・行動援護事業、重度障害者等包括支援事業、生活介護事業、自立訓練事業、地域活動支援センターを含む。

※就労支援は、就労移行支援事業、就労継続支援事業（A型・B型）を含む。

### (2) 就職希望率及び実現率の推移

※県立校のみ・専攻科含む。

	卒業生数	年度当初就職希望者数	就職実現者数	就職者数	就職希望率	就職希望者の実現率	就職率
R1	701	283	246	248	40.4%	86.9%	35.4%
R2	667	283	246	249	42.4%	86.9%	37.3%
R3	665	265	227	233	39.8%	85.7%	35.0%
R4	676	265	230	230	39.2%	86.8%	34.0%
R5	656	257	218	225	39.2%	84.8%	34.3%



(3) 就職先の産業分類

※県立校のみ・専攻科含む

産業分類	人数(人)	産業分類	人数(人)
農, 林業	2	不動産, 物品賃貸業	2
漁業	0	学術研究, 専門技術サービス業	2
鉱業, 採石, 砂利採取業	0	宿泊, 飲食サービス業	18
建設業	5	生活関連サービス, 娯楽業	7
製造業	100	教育, 学習支援業	2
電気, ガス, 熱供給, 水道業	4	医療, 福祉	17
情報通信業	1	複合サービス事業	2
運輸, 郵便業	14	他サービス業	12
卸売, 小売業	32	公務	0
金融業, 保険業	1	その他	4

(4) 就職先の仕事内容

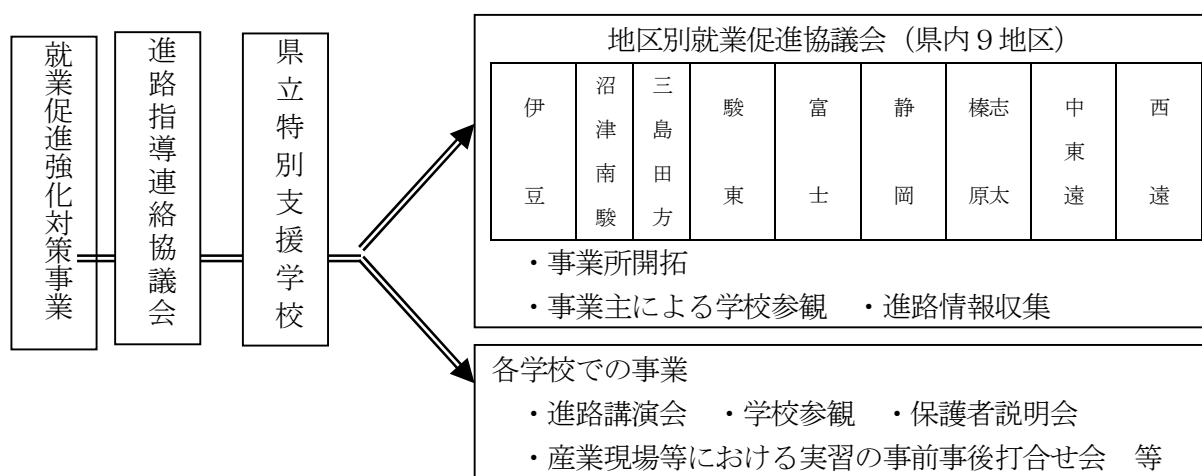
※県立校のみ・専攻科含む

仕事内容	人数(人)	仕事内容	人数(人)
専門的, 技術的	6	生産工程	80
事務	14	輸送, 機械運転	0
販売	18	建設, 採掘	2
サービス職業	30	運搬, 清掃等	62
保安職業	0	その他	7
農林漁業	6		

3 県内特別支援学校における就業支援

(1) 就業促進強化対策事業

・特別支援学校生徒が社会自立・社会参加を目指し、職場適応力や社会生活力を養うため、一定期間実際の事業所や障害福祉サービス事業所等において行う産業現場等における実習が、円滑かつ充実して行われるために、協力・依頼先の拡大を図る。



・地区別就業促進協議会における特別支援学校の配置

	事務局校	所属校
伊豆地区	東部特別支援学校伊豆高原分校	伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校
沼津南駿地区	沼津特別支援学校	沼津特別支援学校愛鷹分校 沼津視覚特別支援学校 沼津聴覚特別支援学校
三島田方地区	伊豆の国特別支援学校	沼津特別支援学校伊豆田方分校 東部特別支援学校
駿東地区	御殿場特別支援学校	御殿場特別支援学校小山分校
富士地区	富士特別支援学校	富士特別支援学校富士宮分校 富士特別支援学校富士東分校
静岡地区	静岡北特別支援学校	静岡視覚特別支援学校 静岡北特別支援学校南の丘分校 清水特別支援学校 中央特別支援学校 静岡大学教育学部附属特別支援学校
志太榛原地区	藤枝特別支援学校	藤枝特別支援学校焼津分校 吉田特別支援学校
中東遠地区	袋井特別支援学校	袋井特別支援学校磐田見付分校 掛川特別支援学校 掛川特別支援学校御前崎分校
西遠地区	浜松特別支援学校	浜松視覚特別支援学校 浜松聴覚特別支援学校 浜松特別支援学校城北分校 浜名特別支援学校 浜北特別支援学校 西部特別支援学校 天竜特別支援学校 浜松みをつくし特別支援学校

(2) 就労促進専門員の活用

- ・就労促進のための支援を行う専門員を配置し、高等部生徒の就労先開拓等の充実を図る。
- ・平成 27 年度より高等部を有する県立特別支援学校を対象とし、地域性や人数規模を加味して、12 の拠点校に各一人を配置している。

(3) 産業現場等における実習の実施

中学部の段階から実習を実施している学校もある

高等部 1 年生で 1 日から 10 日

2 年生で 3 日から 10 日 年間 2 回

3 年生で 3 日から 15 日 年間 2 回

その他にも毎週地域の企業や施設で就業体験を実施している学校もある